

## PHP フレームワーク Laravel 入門 第 2 版【正誤表】

### ●150 ページ sometimes の挙動について

本書 P.150 にて、Validator の sometimes メソッドについて説明していますが、説明内容に誤りがありました（ページの下から 2 行目付近）。

【誤】 true の場合は何もみませんが、false の場合は sometimes で指定したルールを項目に追加します。

【正】 false の場合は何もみませんが、true の場合は sometimes で指定したルールを項目に追加します。

また、これにあわせ、その後のリスト 4-27 における sometimes メソッドの実行内容も修正してお読み下さい。

【誤】 return !is\_int(\$input->age);

【正】 return is\_numeric(\$input->age);

### ●160 ページ リスト 4-35

【訂正】 サンプルで作成した Myrule を利用していますが、use 文の追記に関するコメントが抜けていました。以下のように use 文を追加して利用ください。

```
use App¥Rules¥Myrule;
```

### ●223 ページ マイグレーションで生成されるファイルについて

【補足】 マイグレーションにより生成されるファイルについて記述がありますが、現バージョン（Laravel7 以降）では password\_resets は laravel/ui に移動となっており、xxx\_create\_password\_resets\_table.php はここでは生成されなくなりました。

### ●268 ページ リスト 6-28

【誤】 verchar

【正】 varchar

### ●300 ページ JSON は配列で return する 4 行目

【誤】 実は Larave では、

【正】 実は Laravel では、

### ●301 ページ Create および store アクションの作成 本文 1 行目

【誤】 RestdataController.php

【正】 RestappController.php

---

## 【補足情報】

### ■Laravel8 以降のコントローラーのルート情報記述について

Laravel8 以降では、web.php などにコントローラーのルート情報を記述する際、クラス名だけでは検索されなくなりました。例えば、P.42 のリスト 2-8 で HelloController のルート情報を web.php に記述する際は、以下のように use 文を用意する必要があります。

```
use App¥Http¥Controllers¥HelloController;
```

その他のコントローラーについても同様に use 文を用意する必要がありますのでご注意ください。

---

### ■モデルクラスの名前空間について

本書では、モデルクラスの名前空間を App 内として記述しています。が、現在の Laravel8 では、モデルクラスが配置される名前空間が App¥Models に変更されています。これに伴い、モデルクラスの use 文を以下のように修正して下さい。

旧) use App¥モデルクラス;

新) use App¥Models¥モデルクラス;

---

<本書紹介サイト>

<https://www.shuwasystem.co.jp/book/9784798060996.html>

<秀和システム>

<http://www.shuwasystem.co.jp/>